



福島 文博 議員

上毛町全戸に設置される火災報知機の入札関係は

すと悪徳業者等が入って住民に不安感を生じることがありますので集中的に設置させたいと思っています。豊前の業者とは公営住宅の事だと思えます。

答〔住民課長〕

公営住宅は指名競争入札をして20年度に既に設置済です。



▲火災警報機

税の徴収状況は

指名競争入札で行ったと思うが何社を入れたのか。噂では豊前の業者が落札したと聞いている。ご承知のように経済の冷え切った時期に何故か町としても町内業者の育成を長年にわたり進めてきた経緯があるはずだ。

答〔総務課長〕

町内業者が技術的にま... 設置するよつに6月末に入札、1ヶ月程度で完了するよつなスケジュールを考えられています。あまり期間を延ば

戦後は納税と教育に一番重点が置かれていたと思うが納税状況はいかがか。

答〔税務課長〕

納税率は個人住民税で99%、固定資産税は98%、軽自動車税は98%、国保税は95%です。

高齢者保健対策は

肺炎予防のワクチンに補助金制度を設けては。

答〔健康福祉課長〕

肺炎球菌ワクチンは徐々に普及しています。国においてもワクチンの使用実績が少ないため、有効性、安全性、医療経済上の医療費にかかる部分等を含めた調査研究を現在進めています。その結果を踏まえて、予防接種法上の取り扱い等検討するよつになっています。



亀頭 寿太郎 議員

保健士を診療所に常勤にして住民の検診率を高めては。

答〔健康福祉課長〕

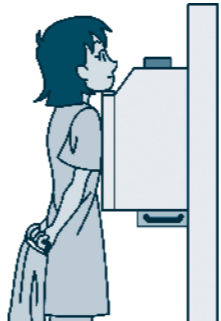
保健士を診療所に常勤すること、ならびに受診率の対応状況ということですが、特定健診率は38.5%です。集落単位での受診率は分析していません。全体的な受診率としては、合併前においては、大平地区は無償で実施して、新吉地区は有償、合併後は一律に一定負担金により実施する中で、大平地区の受診率が伸び悩んだ時期もありましたが、現行では、ほぼ同じレベルで進行していると認識しています。診療所と保健士の関係は、診療所を拠点とした健康づくりへの推進提言と承知しますが、新たに診療所に拠点を設けると現行の機能が分散し、人員の確保、健康データの取り扱い等で大きな費用負担が生じ、またいろいろな課題も生じるということで、常勤対応は非常に困難な状況です。現在、町の方針として、保健士による健診後の健康相談について町内のげんき

保健行政はどうなっているか

新型インフルエンザ対策は出来ていますか。

答〔健康福祉課長〕

新型インフルエンザに備えて、対策物品の備蓄ならびに危機管理体制の整備に万全を期しています。



教育行政は

町内の小学校で学力等の格差はあるのか。

答〔教育長〕

全国一斉に、19年度の全国学力学習状況調査の小学6年生、中学3年生を対象として実施しています。結果の公表については、序列化されたり、または過度の競争意識を生じさせないよう制限されています。私も町内の学校では平均点は県または国の段階より上がかかなり多く、学校格差につきましては、小規模校もあるため余り比較になりません。一人ひとりの学力を必ず把握して、どのような向上をするか、プランを出し、それらに基づいて各学校が学力向上計画、実施、実践をしています。町は毎年2校ずつ指定して、学力向上実践校として取り組んでいます。



茂呂 孝志 議員

後期高齢者医療の保険料・窓口負担の軽減

町長は保険料・窓口負担の軽減について、広域連合構成団体で考えて欲しいと答弁をしている。町の独自財源を使うのになぜ広域連合広域団体の理解が必要なのか。

答〔町長〕

広域という視点から考えれば、独自性を発揮するといふのは、お互い助け合うという視点で見ると協調性を失う恐れがあり、この制度は共通の理解のもとで維持すべきと考え現状ではない。

伊良原ダム建設に伴う水需要計画は

基本計画を見直す理由は。

答〔建設課長〕

本町が誕生して4年が経過しようとしている中で、国から平成20年度に水道ビジョン10年計画を策定することが望ましいとされており、計画を策定しなければ、今後施設の改良に伴う国からの補助が受けられなくなるため、住民の声を聞きながら計画を作成したい。

伊良原ダムの水質は富栄養化現象が考えられ、上水道としては悪臭が発生するのではないかと。今年3月議会で、町が補助金を投入して負担軽減を図ることは不可能ではないと答弁しているが。

答〔健康福祉課長〕

法的に出来るか、出来ないかといえは補助金投入で負担軽減することは可能ですが、本町として均衡を失うという考えからやらないというよつです。

答〔建設課長〕

そのような現象は考えられるが、活性炭吸着池を設け、色や匂いを取り除くこと聞いている。

平成21年度の給水加入人口は2504人だが、計画では2153人で1日98tの水が不足するとなつているが、現在水不足はしているのか。

答〔建設課長〕

夏場が多少水不足が発生しているが、それ以外は生じていません。

町独自の「福祉給付金」で弱者応援

今年度から生活保護世帯への高齢加算、母子加算が廃止されました。地方自治体の給付金は

月8千円までが収入認定されないの、この制度を活用し、生活保護世帯の一人世帯と70歳以上の高齢者世帯、住民税非課税の一人世帯の高校生に月8千円の「福祉給付金」を支給する考えはないか。

答〔健康福祉課長〕

国の基準に沿った適正な生活保護の実施がなされるのが肝要であろうと考えます。従って、町独自の給付金等については考えていません。

下田井地区に防火水槽の設置を

防火水槽設置のため、に土地の提供者がい

ます。現在この付近にある防火水槽は古く、全く使用することが出来ません。町は2年前に設置の内諾をしていたとも聞か、早急に設置する考えはないか。

答〔総務課長〕

内諾はしていません。町

土佐井西区の県道に信号機の設置を

広域農道と県道(吉富)が交わる交差点は見通しが悪く、交通事故が多発しています。町は県に信号機の設置を要望していく考えはないか。

答〔総務課長〕

豊前署はこの道路について設置は難しいとの見解であったが、今後も交通事故が発生する状態であれば要望をしていきます。



▲土佐井西区交差点(新池付近)